

'96香港～北京ラリー「三菱ランサーディーラーチーム」派遣メカニック選考会開催

## 下谷光俊氏 **CMSC** 栃木、中根孝氏 **CMSC** 広島 両名が派遣メカニックに選ばれる。'96香港～北京ラリー



今年の「香港～北京ラリー」は総走行距離約3700kmを10月19～25日の7日間にわたり走破するハイスピードラリー。三菱とスバルがマンユファクチャラーズタイトル獲得を賭けて戦う、アジア・パシフィックラリー選手権の重要な最終戦です。三菱自動車/ラリーアートでは、このラリーに篠塚建次郎選手で参戦する「三菱ランサーディーラーチーム」のメカニック5名を決定しました。

全国のギャラン系販売会社129社約5400名のサービスエンジニアの中から各社が推薦。8月21～23日、静岡県御殿場市中畑特設会場で行われた最終選考会には、さらに小論文審査で選抜された22名が参加しました。選考プログラムは、車両メンテナンスの技術を審査する「メカニカル審査」、ラリー中の移動の際に欠くことのできないサービスカーの運転技術を審査する「ドライビング審査」と、本番に優るとも劣らない厳しい内容となりました。

そして今回、CMSC栃木の下谷光俊氏(栃木三菱社員)、CMSC広島の中根孝氏(中国三菱社員)が見

事、派遣メカニックに選ばれました。下谷氏は「苦しい思いを度々しましたが合格でき、とても嬉しいです。篠塚選手のサポートができると思うと感無量。選考会に参加した皆の分も頑張りたいです」、中根氏は「ラリーが好きでこの仕事を選んだようなもの。海外ラリーをこの目で見られるのが本当に嬉しいです。皆の邪魔だけはしないよう頑張り、今後に生かせるようにしたいです」と両者喜びのコメント。CMSCクラブ員からはこれまでも、'93年に大阪の杉本達也氏(近畿三菱社員)、島根の岡本春生氏(島根三菱社員)、'94年に群馬の飯塚恒守氏(群馬三菱社員)が選ばれ、活躍しました。今回選抜された両名もきっとと思う存力を発揮してくれる事でしょう。

ドライバーの篠塚建次郎氏(中央)を支える派遣メカニック5人。左から二人目が下谷氏、右が中根氏。写真上、篠塚氏の走行、写真下3点、選考会の模様。このほかに面談や体力審査などがあり、厳しい審査が行われた。



# 熱気溢れる LANCER EVOLUTION IV 試乗会



数々の戦歴を通して磨かれたランサーに流れるラリーの血統。究極の舞台のなかで培われた技術と経験をフィードバックして新たに開発されたランサーエボリューションⅣ。

その試乗会が、8月9日(金)福島県二本松市の「メーハイランド・エス・エス・パーク」で行なわれ、CMSC各支部から43名の参加があり、新型車への熱い期待が感じられました。当日は、車両の紹介・説明が行われた後、ダートコースと、ジムカーナコースとにわかれ、それぞれの仕様の車両で参加者の試乗が行われる間に、篠塚建次郎氏、片岡良宏氏のデモ走行、同乗走行などが行われました。そしてその性能を肌で実感していただいた後に、それぞれの印象を交換したり質疑応答が行われたりと、さすが実際にその戦力を見に参加しただけあって、熱のこもったものになりました。

'97年からWRCへ投入される予定のランサーエボリューションⅣ。その能力は、参加されて実際にその戦力を実感された各支部の方から会員の皆様にすでに伝わっていると思います。

全国で活躍されている我らがCMSC会員の方々に、また1台強い味方が登場したようです。

写真上、全国から集まった参加者。写真中左、篠塚氏によるデモ走行。写真中2点、熱気溢れる試乗会の模様。写真下左、エボⅣの紹介と説明を熱心に聞く参加者。写真下右、ジムカーナコースでのデモ走行。



CMSC道北 8月4日

CMSC道北エンジョイジムカーナ

去る、8月4日旭川市春光台教習所特設コースにて第2回CMSC道北エンジョイジムカーナを開催いたしました。参加台数はAⅠが6台、AⅡが17台、AⅢが4台、AⅣが3台の計30台と少し寂しい状況ですが、地方(北海道で言う地方とはかなり遠いのです)

## 北海道の定番イベントに育てたい

からも多くの方に駆けつけていただきました。コースの作成は昨年同様田口選手。彼らしいハイスピードな設定で、さながらミニサーキットタイムトライアルといった感じ。

当日は朝方強い雨が降ったものの、何とか持ち直し、開会式ではラリーアートから視察に来られた

須賀様にご挨拶いただき、無事1号車のスタート。参加選手それぞれに、1日を満喫していただきました。

来年度も是非、第3回を開催し、地元北海道に定着した競技会に育て上げたいと、クラブ員一同思いを新たにしております。(CMSC道北 栗澤 傑)